

いじめを許さない学校に向けて

みなさん、こんにちは。

廿日市市内の小・中学校では、12月をいじめ防止対策推進月間としています。毎年5月8日の「命の大切さを考える日」と同様に、全市的にいじめを許さない機運の醸成に向けた取組を進めることとしています。

宮園小では、本日（12月9日）、児童朝会（オンライン）を行い、5・6年生の運営委員会から、いじめとはどんなものか、いじめをなくするためにどうしたらいいか、いじめを受けたり見つけたりしたときはどうしたらいいか、などについて、運営委員会のメンバーが作成したスライドを使って全校児童に呼びかけをしました。全校児童に分かりやすくするために、運営委員会が主体的にスライドを作って説明をするというのは初めてのことだったので、話の内容はもちろんですが、そのアイデアに感心しました。



また、そうした運営委員会の工夫もあり、呼びかけを聞く側の各学級の児童も真剣に画面を見ていました。

運営委員会の今日の呼びかけを受け、今後、各学級では、5月の「命の大切さを考える日」で発表した五・七・五をもとに、自分たちの日頃の行動を振り返ることとしています（各学級の五・七・五については、校長メッセージ No 3 をご覧ください）。

私たち教職員も、いじめは、どの学級・どの子にも起こりうるものという基本認識に立ち、全ての児童に対して、いじめに向かわせないための未然防止・早期発見・早期対応に引き続き努めて参ります。

いじめがあったときは、一人で悩まず、相談することが大切です。本校では、継続的にいじめアンケートや教育相談を行っていますが、何か心配なことがありましたら、いつでも、ためらうことなく相談してください。よろしくお願いいたします。